



▲おみがわ竹炭会のかがり火に照らされた夜神楽



▲有志が電動ドリルで竹とうろう作り



「おみがわ・冬灯路」を動画で見よう!!

スマートフォンでアプリを起動し、この写真に گذاしてください



▲花火や星など、さまざまな文様の竹とうろうが並ぶ(須賀神社)

### おみがわ・冬灯路

## 小見川照らす やわらかな灯り

香取市合併10周年を記念し、有志の協力で制作された竹とうろう約200本がまちなかに設置され、師走の小見川のまちがやわらかな灯りで包まれました。

初日の11月26日には、芸座と神楽の共演による「奏舞台」があり、木内神楽保存会と木内囃子連が出演。また、会場の須賀神社は、地元小見川高等学校や小見川中学校、おみがわ竹炭会による、趣向を凝らした和傘のディスプレイや竹とうろうなどの作品に彩られ、一層幻想的な雰囲気。奏舞台には大勢の観客が集まり、郷土芸能を楽しみながら、冬の小見川を満喫していました。

### 栗源のふるさとイモ祭

## いもの神様へ感謝を込めて

クレーンが巨大セイロのふたを持ち上げると、いも祭りが盛大に行われることを告げるのろしのように、大量の湯気があふれ出しました。11月20日の栗源のふるさとイモ祭では、日本一の焼いも広場などに今年もたくさんの人が長蛇の列を作りました。配布された焼いもやふかしいもを割ると、中から鮮やかな黄色といもの香りが。思わずゆるんだ頬いっぱい、ホクホクの秋の味覚を楽しむ人の笑顔が会場にたくさん見えました。



▲ふかしいもは皮の色もきれいな紫

「いも祭り」を動画で見よう!!

香取市映像リポーター作品

## まちかど通信

楽しくホットなまちの話題をご紹介します

### ふるさとフェスタさわら

## 寒さ吹き飛ばす笑顔のもてなし

あっという間に商品棚から消えていったシクラメン。11月27日、香取コミュニティセンターで開催された祭りは、悪天候にもかかわらず、たくさんの買い物客でにぎわっていました。



▲ぶたざんまい丼を手渡すミスあやめ

佐原商工会議所青年部が考案した今年のご当地グルメ「ぶたざんまい丼」を食べた人は、「肉そぼろがご飯に合っていておいしい」と言い、大満足の様子。ほかにも、会場では焼き肉や豚汁などおいしいものを求めて行列ができていました。

### 文化庁 芸術家の派遣事業 歌舞伎ワークショップ

## 踊るように、華麗な動きで

11月18日、福田小学校で子ども劇場千葉県センターのコーディネートによる歌舞伎のワークショップが開かれ、小学生55人が前進座の指導で、立ち回りに使われる型を体験しました。教わったとおりにやってもなかなか息が合わず、新聞紙で作った刀が思わず相手の頭にパコン!とヒットするコンビも。



▲手先や足運びも大切

各学年の代表の発表では、観客席に見得を切る名役者に「ゆうと!」「そうま!」などと、威勢の良いかけ声が掛かりました。

## 広報かとり

Katori

平成29年(2017)1月1日号 No.259

編集 香取市役所総務企画部秘書広報課  
〒287-8501 千葉県香取市佐原口2127  
TEL 0478-54-1111 FAX 0478-52-4566  
http://www.city.katori.lg.jp

### 人口と世帯

12月1日現在(前月比)

計	79,051人	(- 60)
男	39,231人	(+ 3)
女	39,820人	(- 63)
世帯数	30,736世帯	(+ 46)

かとり年と勝手に命名しましたが、今後もひとりひとりに響く紙面づくりにとり組みます。

し 親しまれる広報目指し、青い鳥のように香取の幸せをお届けします!(J)

ど 読者と共に作る広報紙——実現に向け、水面下で懸命にバタ足を!(H)

り リニューアルに向け、皆さまに愛される広報紙企画の卵を産み出したい!(O)

と 鳥の目、虫の目、魚の目。いろんな視点で見てもよう、このまちの今!(M)

か カットリクの翼を身に付けて、また一つ先へ向けて羽ばたきます!(N)

編集後記